AN3 Ca□胞

300119

An3 Ca□胞株は、子宮内膜に由来する癌の一種であるヒト子宮内膜腺癌に由来する。この □胞株はエストロゲン受容体陰性（ER-）であり、in vivoで評価した場合、攻撃的な腫瘍形成能を示す。An3Ca□胞は、癌□胞の増殖、転移、治療薬に対する反応性の研究など、子宮内膜癌の進行の根底にある分子および □胞メカニズムの解明に焦点を当てた研究に広く用いられている。

特徴的に、An3 Ca□胞は上皮形態を示し、がん□胞の挙動に及ぼす様々な遺伝的および環境的因子の影響を研究するために利用されてきた。この □胞株を用いた研究は、潜在的な治療標的を同定し、従来の治療に対する耐性メカニズムを理解することに貢献してきた。この □胞株は、子宮内膜癌の侵攻型に有効な新薬や治療戦略を評価するための貴重なモデルとして役立っている。

全体として、An3 Ca□胞株は、子宮内膜腺癌の科学的知見を前進させるのに役立っており、この困難でしばしば致死的な疾患に対するより効果的な介入につながるかもしれない知見を提供している。

概要

□明

An3 Ca□胞株は、子宮内膜に由来する癌の一種であるヒト子宮内膜腺癌に由来する。この □胞株はエストロゲン受容体陰性（ER-）であり、in vivoで評価した場合、攻撃的な腫瘍形成能を示す。An3Ca□胞は、癌□胞の増殖、転移、治療薬に対する反応性の研究など、子宮内膜癌の進行の根底にある分子および □胞メカニズムの解明に焦点を当てた研究に広く用いられている。

特徴的に、An3 Ca□胞は上皮形態を示し、がん□胞の挙動に及ぼす様々な遺伝的および環境的因子の影響を研究するために利用されてきた。この □胞株を用いた研究は、潜在的な治療標的を同定し、従来の治療に対する耐性メカニズムを理解することに貢献してきた。この □胞株は、子宮内膜癌の侵攻型に有効な新薬や治療戦略を評価するための貴重なモデルとして役立っている。

全体として、An3 Ca□胞株は、子宮内膜腺癌の科学的知見を前進させるのに役立っており、この困難でしばしば致死的な疾患に対するより効果的な介入につながるかもしれない知見を提供している。

ティッシュ	子宮、子宮内膜
病気	腺癌

同義語

- AN3_CA
- AN3-CA
- AN3 Ca
- AN3CA
- AN-3
- AN3
- Acanthosis Nigricans 3rd attempt-CArcinoma

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	上皮
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで。コルチゾン処理したハムスターの頬袋にも低頻度（ 22%）で未分化の悪性腫瘍を生じる。
倍数性	異数体、表現型頻度製品： 0.0054

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

倍増時間	45～50時間

識別子

引用

AN3 Ca（Cytion カタログ番号 300119）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0028

発現と感受性

アイソザイム

PGM3，1-2，PGM1，1，ES-D，1，AK-1，1-2，GLO-1，2，G6PD，B，

取り扱いと飼育

培地

EMEM（MEM Eagle）、w：2 mM L-グルタミン、w：2.2 g/L NaHCO3，w：EBSS（Cytion論文番号820100a）

培養雰囲気	37℃，5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSと1% NEAAを添加する。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml，T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml，T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	初期播種密度は3～4×10⁴□胞/cm²が推奨される。その後、2×10⁴□胞/cm²では4～5日でコンフルエントな層が得られる。
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	24～48時間以内

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	55年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB